



I 自然と人口

項目	データ	全国順位
(面積)		
総面積	3,798.13km ²	39
自然公園面積	124,583ha	15
林野面積割合	32.2%	44
総面積1km ² 当たり人口密度	1,894.2人	4
総面積中の可住地面積割合	67.8%	3
(気候)		
年平均気温	15.4℃	27
降水量(年間)	1,324.5mm	41
快晴日数(年間)	58日	1
(人口)		
人口総数	7,194,556人	5
男	3,608,711人	5
女	3,585,845人	5
外国人	88,734人	5
年少人口(0~14歳)	953,668人	5
生産年齢人口(15~64歳)	4,749,108人	5
老年人口(65歳以上)	1,464,860人	5
生産年齢人口割合	66.3%	3
平均年齢	43.6歳	43
平均寿命(男)	79.05年	15
平均寿命(女)	85.29年	42
(人口変動)		
昼間人口	6,373,489人	5
昼夜間人口比率	88.6	47
他都道府県からの転入者数	159,200人	3
他都道府県への転出者数	147,057人	4
出生数	58,059人	5
合計特殊出生率	1.28	41
死亡数(総数)	57,670人	5
(世帯)		
一般世帯数	2,837,542世帯	5
核家族世帯割合	62.2%	2
高齢単身世帯割合	7.2%	43
婚姻件数	36,227件	5
離婚件数	13,547件	4
平均初婚年齢(夫)	31.1歳	3
平均初婚年齢(妻)	29.2歳	4

1 面積

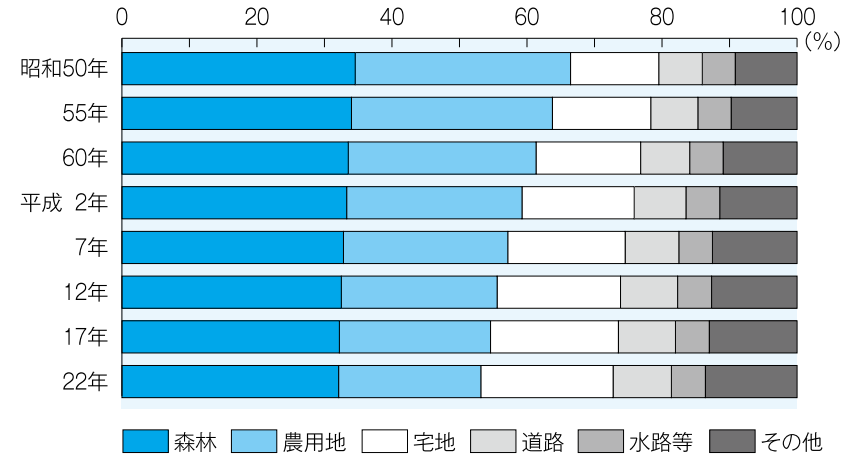
単 位	* 1 総面積 (北方地域及び 竹島を含む)		* 2 総面積1kmあたり 人口密度		* 3 総面積中の 人口集中地区面積割合		* 4 総面積中の 可住地面積割合	
	km ²	順位	人	順位	%	順位	%	順位
全 国	377 950.10		343.4		3.37		32.8	
北海道	83 456.87	1	70.2	47	0.96	43	28.3	30
青森県	9 644.54	8	142.4	41	1.66	34	33.5	22
岩手県	15 278.89	2	87.1	46	0.55	47	24.2	40
宮城県	7 285.76	16	322.3	19	3.33	17	43.2	14
秋田県	11 636.25	6	93.3	45	0.75	45	27.4	33
山形県	9 323.46	9	125.4	42	1.23	42	30.6	28
福島県	13 782.76	3	147.2	39	1.33	39	30.7	27
茨城県	6 095.72	24	487.2	12	3.97	13	65.3	4
栃木県	6 408.28	20	313.3	22	2.95	20	46.5	12
群馬県	6 362.33	21	315.6	21	3.15	19	36.2	17
埼玉県	3 798.13	39	1 894.2	4	18.09	4	67.8	3
千葉県	5 156.70	28	1 205.5	6	12.29	6	68.5	2
東京都	2 187.50	45	6 015.7	1	49.12	1	63.6	5
神奈川県	2 415.86	43	3 745.4	3	39.29	3	60.7	6
新潟県	12 583.81	5	188.7	34	1.85	31	35.8	18
富山県	4 247.61	33	257.4	25	2.47	25	43.6	13
石川県	4 185.66	35	279.5	23	2.55	25	33.2	23
福井県	4 189.83	34	192.4	32	1.87	30	25.6	36
山梨県	4 465.37	32	193.3	31	1.35	38	21.3	44
長野県	13 562.23	4	158.7	38	1.30	40	24.4	39
岐阜県	10 621.17	7	195.9	30	1.68	33	20.7	45
静岡県	7 780.42	13	483.9	13	5.47	11	35.4	20
愛知県	5 165.04	27	1 434.8	5	17.84	5	57.6	7
三重県	5 777.27	25	321.0	20	3.22	18	35.4	20
滋賀県	4 017.36	38	351.2	15	2.68	24	32.3	25
京都府	4 613.21	31	571.4	10	5.71	10	25.5	37
大阪府	1 898.47	46	4 669.7	2	47.76	2	69.4	1
兵庫県	8 396.13	12	665.6	8	6.88	8	33.1	24
奈良県	3 691.09	40	379.5	14	3.88	14	23.1	43
和歌山県	4 726.29	30	212.0	29	1.93	29	23.2	42
鳥取県	3 507.28	41	167.8	37	1.38	37	26.0	35
島根県	6 707.95	19	107.0	44	0.64	46	19.2	46
岡山県	7 113.21	17	273.5	24	2.85	22	31.3	26
広島県	8 479.58	11	337.4	18	3.59	15	27.0	34
山口県	6 113.95	23	237.4	28	3.45	16	28.1	31
徳島県	4 146.67	36	189.4	33	1.28	41	24.7	38
香川県	1 876.53	47	530.7	11	4.16	12	53.4	10
愛媛県	5 678.18	26	252.1	26	2.71	23	29.4	29
高知県	7 105.16	18	107.6	43	0.78	44	16.3	47
福岡県	4 977.24	29	1 019.0	7	11.38	7	55.7	8
佐賀県	2 439.65	42	348.3	16	2.22	27	54.6	9
長崎県	4 105.33	37	347.5	17	2.93	21	39.8	15
熊本県	7 404.73	15	245.4	27	2.10	28	36.9	16
大分県	6 339.71	22	188.7	34	1.81	32	27.5	32
宮崎県	7 735.99	14	146.7	40	1.47	35	23.9	41
鹿児島県	9 188.78	10	185.7	36	1.38	36	35.6	19
沖縄県	2 276.15	44	611.9	9	5.75	9	51.3	11

資料出所
* 1～3 「国勢調査」総務省統計局HP
* 4 「社会生活統計指標」総務省統計局

調査時点又は期間
平成22年10月1日
平成22年10月1日

調査周期
5年
毎年

利用形態別土地面積構成比 (各年10月1日現在)



資料：「埼玉の土地」県土地水政課

総面積は国土の約1%で全国第39位、人口密度は全国第4位

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の本県の総面積は3,798.13km²(東西約103km、南北約52km)で国土の約1%に当たり、47都道府県中39番目の広さです。

総面積1km²当たりの人口密度は1,894.2人で、前回調査(平成17年)と同じ全国第4位でした。

また、県内の全ての市と10の町に設定されている人口集中地区が総面積に占める割合は、18.09%で全国第4位でした。

「社会生活統計指標」によると、平成22年10月1日現在の可住地面積の割合は、全国平均(32.8%)の約2倍の67.8%で全国第3位でした。

人口集中地区面積割合 $\text{人口集中地区面積} \div \text{総面積} \times 100$

可住地面積割合 $\text{可住地面積} \div \text{北方地域及び竹島を除いた総面積} \times 100$

～人口集中地区～

「人口集中地区」は、国勢調査基本単位区または調査区を基礎単位として、

- ①人口密度が1平方キロメートル当たり4,000人以上の基本単位区等が市区町村域内で互いに隣接し、
- ②国勢調査時に、隣接地域の人口が5,000人以上を有する当該地域としています。

昭和35年国勢調査以来、各回の調査ごとに設定され、地方交付税算定基準の1つとして利用されているほか、都市計画、地域開発計画、市街地再開発計画、産業立地計画、交通計画、環境衛生対策、防犯・防災対策、その他各種行政施策、学術研究及び民間市場調査などに広く利用されています。



おしえてコバトン

2 自然・地形

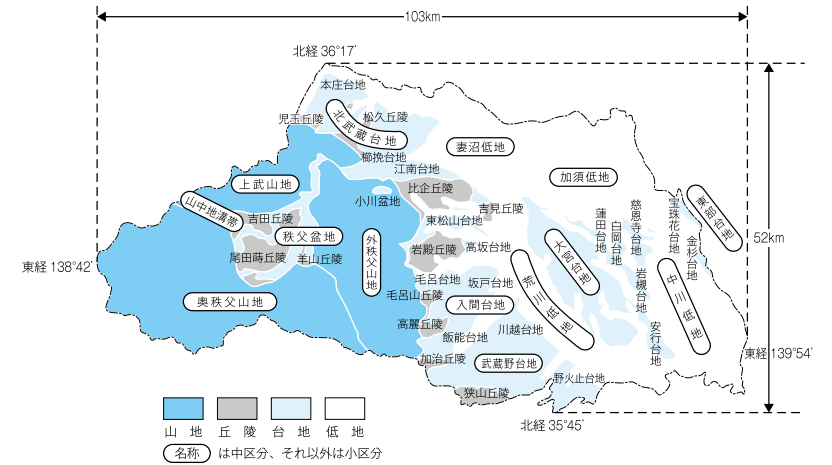
単 位	* 1 自然公園面積		* 2 自然公園面積割合		* 3 林野面積割合		* 4 河川延長・一級河川 (指定区間外含む)	
	ha	順位	%	順位	%	順位	km	順位
全 国	5 430 900		14.37		66.6		87 958.4	
北海道	867 561	1	10.40	37	70.8	18	10 175.6	1
青森県	114 570	18	11.88	29	65.1	25	1 081.0	34
岩手県	72 102	29	4.72	46	75.8	8	2 140.7	14
宮城県	171 199	8	23.50	9	56.6	33	2 112.4	15
秋田県	123 777	16	10.64	35	71.9	17	2 738.2	8
山形県	155 810	10	16.71	21	69.4	20	2 923.3	6
福島県	179 109	6	13.00	26	68.4	22	3 438.6	4
茨城県	90 896	20	14.91	22	31.0	46	1 892.9	20
栃木県	133 443	13	20.82	13	53.3	35	2 732.2	9
群馬県	88 970	21	13.98	25	63.8	29	2 904.5	7
埼玉県	124 583	15	33.06	4	32.2	44	1 645.0	25
千葉県	28 537	43	5.53	45	31.2	45	512.6	41
東京都	79 889	27	36.52	2	36.4	43	734.6	38
神奈川県	55 138	32	22.82	10	39.0	42	332.9	42
新潟県	316 891	2	25.18	8	64.2	28	3 602.9	3
富山県	125 554	14	29.56	5	56.4	34	1 168.9	32
石川県	52 564	33	12.56	27	66.7	24	316.9	43
福井県	61 910	31	14.78	23	74.1	12	1 099.4	37
山梨県	121 153	17	27.13	7	78.2	4	2 055.6	13
長野県	278 548	3	20.54	14	75.4	9	5 070.4	2
岐阜県	195 093	5	18.37	16	79.3	2	3 261.6	5
静岡県	83 777	25	10.77	33	63.7	30	1 627.0	26
愛知県	88 873	22	17.21	19	42.4	41	1 392.8	30
三重県	201 896	4	34.95	3	64.6	26	1 745.9	22
滋賀県	149 957	12	37.33	1	50.9	36	2 315.9	12
京都府	25 738	45	5.58	44	74.2	11	1 555.3	27
大阪府	20 039	47	10.56	36	30.6	47	672.2	39
兵庫県	166 015	9	19.77	15	66.9	23	1 768.4	21
奈良県	63 328	30	17.16	20	76.9	5	1 650.0	24
和歌山県	50 309	34	10.64	34	76.8	6	602.0	40
鳥取県	49 060	35	13.99	24	73.5	13	1 034.2	36
島根県	40 497	40	6.04	43	78.4	3	2 288.1	13
岡山県	80 664	26	11.34	30	68.7	21	2 543.8	10
広島県	37 853	42	4.46	47	73.0	14	2 418.7	11
山口県	42 667	38	6.98	41	71.9	16	215.7	44
徳島県	38 706	41	9.33	39	75.3	10	1 520.1	28
香川県	20 534	46	10.94	32	46.6	38	87.2	46
愛媛県	41 121	39	7.24	40	70.6	19	1 944.4	18
高知県	47 504	36	6.69	42	83.7	1	1 927.6	19
福岡県	88 107	23	17.70	18	44.3	40	1 300.2	31
佐賀県	26 884	44	11.02	31	45.4	39	1 076.8	35
長崎県	74 091	28	18.05	17	60.2	32	136.4	45
熊本県	155 636	11	21.02	11	63.1	31	1 734.5	23
大分県	174 849	7	27.58	6	72.5	15	2 074.4	16
宮崎県	91 919	19	11.88	28	76.2	7	1 508.5	29
鹿児島県	86 170	24	9.38	38	64.3	27	878.1	37
沖縄県	47 406	37	20.83	12	48.7	37	-	47

資料出所
* 1,2 「環境統計集」環境省HP
* 3 「農林業センサス」農林水産省HP
* 4 「一級河川の河川延長等調」国土交通省HP

調査時点又は期間
平成24年3月31日
平成22年2月1日
平成23年4月30日

調査周期
毎年
5年
毎年

埼玉県の地形



資料：埼玉県の地形区分と名称図(1975村本達郎氏による)

県土の約3分の1が自然公園

本県は関東地方の中央部から西部に位置する内陸県で、東は茨城、千葉、西は長野、山梨、南は東京、北は群馬、栃木の1都6県に接しています。

地形は、県の最高峰・三宝山(2,483m)をはじめとする2,000m級の山々が西部に連なり、東部に移るにつれて丘陵、台地、低地と次第に低くなっています。

「環境統計集」によると、平成24年3月31日現在、自然公園は国立1か所、県立10か所の計11か所124,583haが指定されており、面積割合は県土の33.06%を占め、全国第4位でした。

「農林業センサス」によると、林野面積は122,401haで、面積割合は32.2%でした。

県内の一級河川延長は1,645km

国土交通省によると、県内の一級河川延長は1,645kmで、全国第25位でした。県内の一級河川はすべて利根川・荒川水系に含まれています。

※表*1の自然公園面積は、国立公園、国定公園及び都道府県立自然公園の合計面積で再測定面積のため、都道府県別値の計は全国値と一致しません。

～母なる川、荒川～

荒川は、本県と、山梨、長野県境にある甲武信ヶ岳を起点に、120近くある支川の水を集めながら、県中央部を西から東へ抜け、東京湾に注ぎます。県内の荒川の流域面積は約2,440km²で、県全体の面積の約3分の2を占めています。

下流にある荒川第一調節池は、面積が5.8km²と蕨市とほぼ同じ広さで、貯水量は3,900万m³と25mプール156,000杯分に相当します。

資料：国土交通省荒川上流河川事務所



おしえてコバトン

3 気象

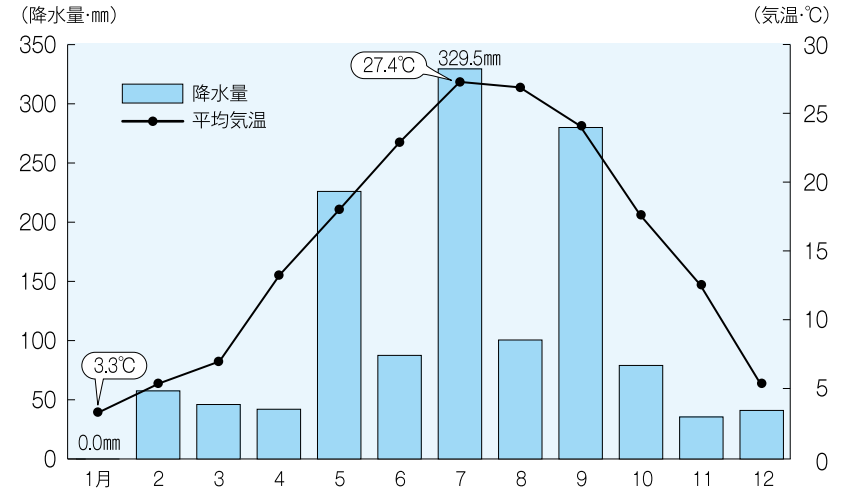
単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	年平均気温		降水量(年間)		日照時間(年間)		快晴日数(年間) 日平均雲量<1.5	
	℃	順位	mm	順位	時間	順位	日	順位
全 国
北海道	9.3	47	1 253.5	42	1 753.6	34	12	44
青森県	10.6	45	1 570.5	31	1 541.9	46	8	46
岩手県	10.5	46	1 229.0	43	1 726.8	36	13	42
宮城県	12.9	41	1 214.0	44	1 990.1	22	14	39
秋田県	11.8	43	1 834.0	19	1 466.3	47	10	45
山形県	11.8	43	1 144.5	45	1 664.3	41	17	36
福島県	13.3	40	1 091.5	46	1 825.3	31	13	42
茨城県	14.1	38	1 498.5	34	2 081.5	14	43	5
栃木県	14.2	37	1 619.5	28	2 049.4	17	42	6
群馬県	14.9	33	1 340.0	40	2 227.4	3	39	7
埼玉県	15.4	27	1 324.5	41	2 215.2	4	58	1
千葉県	15.8	26	1 357.0	39	2 197.5	5	23	27
東京都	16.5	17	1 479.5	35	2 056.2	16	36	9
神奈川県	16.3	19	1 557.0	32	2 188.3	6	36	9
新潟県	13.9	39	1 858.0	17	1 728.4	35	14	39
富山県	14.3	36	2 668.5	3	1 611.1	43	14	39
石川県	14.8	34	2 467.0	7	1 718.3	38	20	31
福井県	14.6	35	2 670.0	2	1 691.0	40	27	18
山梨県	15.0	28	1 423.5	37	2 306.6	2	44	4
長野県	12.0	42	958.5	47	2 013.1	21	17	36
岐阜県	15.9	25	1 779.0	22	2 080.6	15	36	9
静岡県	16.9	7	2 498.0	6	2 361.7	1	58	1
愛知県	16.1	22	1 785.5	21	2 151.5	8	35	14
三重県	16.1	22	1 751.5	23	2 103.3	13	24	24
滋賀県	15.0	28	1 800.5	20	1 849.5	29	30	15
京都府	16.0	24	1 650.5	25	1 770.0	33	18	35
大阪府	16.9	7	1 614.0	29	2 162.6	7	23	27
兵庫県	16.8	10	1 624.5	27	2 104.1	12	24	24
奈良県	15.0	28	1 473.0	36	1 847.8	30	22	29
和歌山県	16.6	13	1 750.5	24	2 139.7	9	30	15
鳥取県	15.0	28	2 375.5	8	1 603.9	44	19	33
島根県	15.0	28	1 975.5	14	1 637.4	42	16	38
岡山県	16.3	19	1 416.5	38	2 028.2	20	36	9
広島県	16.2	21	1 502.0	33	1 968.9	23	26	21
山口県	16.7	11	1 921.5	16	1 710.0	39	24	24
徳島県	16.7	11	2 562.5	5	2 124.3	11	26	21
香川県	16.6	13	1 604.0	30	2 041.3	19	20	31
愛媛県	16.5	17	1 633.0	26	1 956.3	24	21	30
高知県	17.2	4	2 686.0	1	2 126.3	10	39	7
福岡県	17.1	5	1 849.0	18	1 819.9	32	27	18
佐賀県	16.6	13	2 005.5	13	1 868.8	27	36	9
長崎県	17.0	6	2 169.0	9	1 726.0	37	29	17
熊本県	16.9	7	2 154.5	10	1 886.2	26	27	18
大分県	16.6	13	1 959.5	15	1 912.7	25	19	33
宮崎県	17.3	3	2 590.0	4	2 044.3	18	52	3
鹿児島県	18.4	2	2 063.0	12	1 866.8	28	25	23
沖縄県	22.9	1	2 122.0	11	1 602.3	45	5	47

資料出所
*1~4 気象庁HP

調査時点又は期間
平成23年

調査周期
毎年

月別降水量・平均気温(平成23年・熊谷)



資料：気象庁HP

夏は高温多湿、冬は低温乾燥

本県の気候は、冬は北西の季節風が強く晴天の日が多くて乾燥し、夏は日中かなりの高温になり雷の発生が多く、降ひょうも多いのが特徴です。地域別に気温の特徴をみると、北部は、県内でも夏の気温が高い地域となっており、平成19年8月16日に熊谷で国内最高気温の40.9℃を観測しました。一方、秩父地方の盆地は、冬期に夜間の冷え込みが強く、昭和29年1月27日に-15.8℃の最低気温を観測しました。

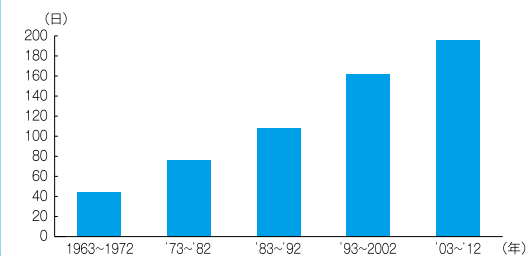
年間快晴日数58日で全国第1位

気象庁によると、平成23年の熊谷の年平均気温は、平年値より0.4℃高い15.4℃、最高気温は6月24日の39.8℃、最低気温は1月31日の-4.6℃でした。

また、年間降水量は平年値より38.2mm多い1,324.5mmで、日最大降水量は7月19日の204.5mmでした。日照時間は平年値より173.1時間多い2,215.2時間となり、快晴日数は58日で、前年より9日多く、全国第1位でした。

※表*1~4の各都道府県値は、原則、都道府県庁所在市の観測地点によりますが、埼玉県は熊谷、千葉県は銚子、滋賀県は彦根及び山口県は下関の値としました。

~10年間ごとの猛暑日積算日数(熊谷)をみてみると?~



熊谷の猛暑日(最高気温35℃以上)について、2003年から2012年までの10年間を、50年前の1963年から1972年の10年間と比較すると、約4.5倍に増加しています。

資料：気象庁HP



おしえてコバトン

4 自然災害

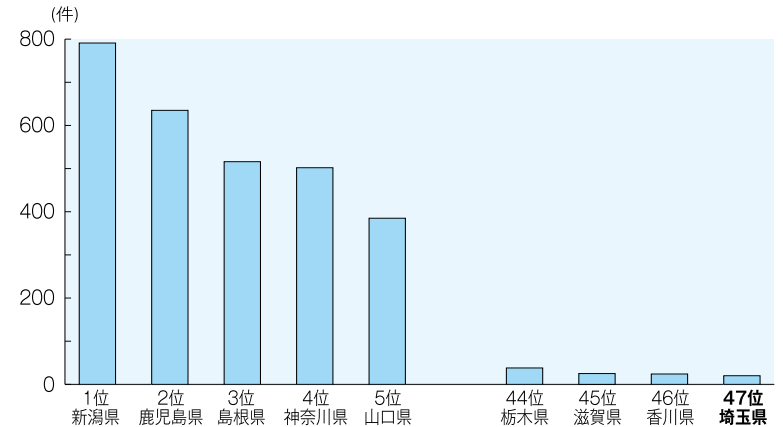
単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	自然災害による被害総額		河川被害発生箇所数		土砂災害発生件数		震度1以上地震発生回数	
	百万円	順位	箇所	順位	件	順位	回	順位
全 国	6 418 728		12 371		1 422		9 723	
北海道	35 280	11	136	28	3	42	405	16
青森県	139 147	6	148	24	3	42	767	12
岩手県	927 738	2	496	6	8	29	1 978	4
宮城県	3 805 372	1	86	35	19	24	2 545	3
秋田県	16 669	19	299	14	4	36	617	14
山形県	7 272	26	157	23	38	11	814	10
福島県	591 562	3	281	15	104	3	3 800	1
茨城県	148 866	5	244	19	28	15	3 135	2
栃木県	27 163	12	416	9	20	23	1 461	5
群馬県	4 693	34	35	38	5	34	911	7
埼玉県	1 188	43	-	47	5	34	897	8
千葉県	154 233	4	97	32	23	19	1 425	6
東京都	29	47	13	43	3	42	665	13
神奈川県	5 078	30	23	40	58	6	414	15
新潟県	117 483	7	1 550	1	307	1	787	11
富山県	1 305	42	4	45	6	30	76	25
石川県	3 264	37	111	30	11	27	90	22
福井県	877	44	73	36	9	28	54	29
山梨県	5 612	29	21	42	32	13	241	19
長野県	17 192	18	48	37	25	17	840	9
岐阜県	19 446	17	631	5	25	17	251	18
静岡県	23 991	15	414	10	93	4	364	17
愛知県	4 537	35	93	33	3	42	83	23
三重県	55 296	9	682	4	52	7	40	36
滋賀県	1 658	40	23	40	6	30	59	27
京都府	3 649	36	259	17	3	42	44	34
大阪府	175	46	5	44	4	36	46	32
兵庫県	39 959	10	1 061	3	4	36	53	30
奈良県	26 204	13	137	27	37	12	46	32
和歌山県	93 049	8	1 090	2	44	9	98	21
鳥取県	13 939	20	199	20	21	22	21	45
島根県	5 020	31	258	18	67	5	37	37
岡山県	7 749	25	366	12	13	26	32	39
広島県	2 345	38	108	31	6	30	55	28
山口県	1 604	41	143	26	6	30	21	45
徳島県	12 490	21	169	21	42	10	32	39
香川県	4 724	33	265	16	16	25	25	43
愛媛県	8 403	23	492	7	27	16	32	39
高知県	22 549	16	402	11	23	19	35	38
福岡県	285	45	120	29	4	36	30	42
佐賀県	1 843	39	27	39	1	47	12	47
長崎県	6 245	28	144	25	22	21	23	44
熊本県	7 236	27	325	13	4	36	83	23
大分県	4 734	32	93	33	30	14	42	35
宮崎県	8 061	24	160	22	48	8	53	30
鹿児島県	24 763	14	463	8	106	2	159	20
沖縄県	8 725	22	4	45	4	36	63	26

資料出所
 * 1, 2 「消防白書」消防庁HP
 * 3 「近年の都道府県別土砂災害発生状況」国土交通省HP
 * 4 「地震・火山月報(防災編)」気象庁HP

調査時点又は期間
 平成23年
 平成23年
 平成23年

調査周期
 毎年
 毎年
 毎年

土砂災害発生件数 (平成17年~23年の累計)



資料：国土交通省HP

全国で唯一、河川被害発生箇所がゼロ

「消防白書」によると、平成23年の自然災害による被害総額は11億8,800万円で、全国第43位でした。

また、本県は全国で唯一、河川被害発生箇所がありませんでした。

「近年の都道府県別土砂災害発生状況」によると、平成23年に発生した土砂災害は5件で、全国第34位でした。なお、平成17年以降の土砂災害発生件数は20件で、全国最少となっています。

県内で震度1以上を観測した地震発生回数は前年の約14倍

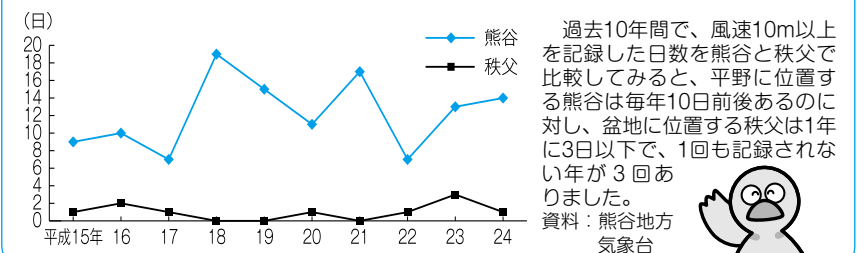
平成23年3月11日に、マグニチュード9.0の「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」が発生しました。「地震・火山月報(防災編)」によると、それ以降、極めて活発な余震活動の影響により、国内で震度1以上を観測した地震は9,723回(平成22年は1,313回)、震度5弱以上を観測した地震は68回(平成22年は5回)に上りました。被害を伴った地震は28回(平成22年は11回)で、死者・行方不明者を伴った地震は5回(平成22年はなし)でした。

本県の観測点で観測した震度1以上の地震は897回で前年の約14倍になりました。なお、最大の震度は震度6弱(3月11日)でした。

気象庁によると、平成23年に発生した台風の数は21個(平年は25.6個)でした。日本に上陸した台風は3個(平年は2.7個)で、9月に発生した台風第12号と台風第15号は、記録的な大雨による甚大な被害をもたらしました。また、「平成23年7月新潟・福島豪雨」は、新潟県と福島県会津地方に甚大な被害をもたらしました。

※表*3及び文中の土砂災害は、土石流、地すべり並びにがけ崩れの件数の合計です。
 ※表*4は、平成23年12月末時点で解析処理の済んだ地震発生回数を掲載しており、今後、値を更新する場合があります。

~風速10m(10m/秒)以上記録日数の推移(熊谷、秩父)~



過去10年間で、風速10m以上を記録した日数を熊谷と秩父と比較してみると、平野に位置する熊谷は毎年10日前後あるのに対し、盆地に位置する秩父は1年に3日以下で、1回も記録されない年が3回ありました。

資料：熊谷地方気象台



おしえてコバトン

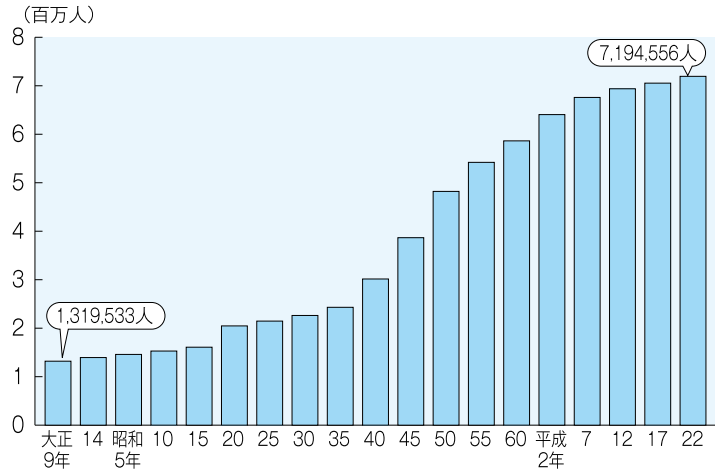
5 総人口

単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	人口総数	順位	男	女	男	女	外国人	順位
	人		人	人	人	人	人	
全 国	128 057 352		62 327 737	65 729 615			1 648 037	
北海道	5 506 419	8	2 603 345	2 903 074	8		18 280	20
青森県	1 373 339	31	646 141	727 198	29		3 688	43
岩手県	1 330 147	32	634 971	695 176	32		5 184	38
宮城県	2 348 165	15	1 139 566	1 208 599	15		12 367	22
秋田県	1 085 997	38	509 926	576 071	37		3 356	46
山形県	1 168 924	35	560 643	608 281	34		6 158	36
福島県	2 029 064	18	984 682	1 044 382	18		9 347	28
茨城県	2 969 770	11	1 479 779	1 489 991	11		40 477	10
栃木県	2 007 683	20	996 855	1 010 828	21		26 429	17
群馬県	2 008 068	19	988 019	1 020 049	19		35 458	13
埼玉県	7 194 556	5	3 608 711	3 585 845	5		88 734	5
千葉県	6 216 289	6	3 098 139	3 118 150	6		78 927	7
東京都	13 159 388	1	6 512 110	6 647 278	1		318 829	1
神奈川県	9 048 331	2	4 544 545	4 503 786	3		125 686	4
新潟県	2 374 450	14	1 148 236	1 226 214	14		11 914	24
富山県	1 093 247	37	526 605	566 642	37		11 002	25
石川県	1 169 788	34	564 972	604 816	35		9 768	27
福井県	806 314	43	389 712	416 602	43		10 562	26
山梨県	863 075	41	422 526	440 549	42		12 484	21
長野県	2 152 449	16	1 046 178	1 106 271	16		29 841	16
岐阜県	2 080 773	17	1 006 247	1 074 526	17		36 879	12
静岡県	3 765 007	10	1 853 952	1 911 055	10		61 610	8
愛知県	7 410 719	4	3 704 220	3 706 499	4		160 228	3
三重県	1 854 724	22	903 398	951 326	23		32 825	14
滋賀県	1 410 777	28	696 769	714 008	30		21 537	18
京都府	2 636 092	13	1 265 387	1 370 705	13		41 855	9
大阪府	8 865 245	3	4 285 566	4 579 679	2		164 704	2
兵庫県	5 588 133	7	2 673 328	2 914 805	7		79 040	6
奈良県	1 400 728	29	663 321	737 407	28		9 255	29
和歌山県	1 002 198	39	471 397	530 801	39		4 837	39
鳥取県	588 667	47	280 701	307 966	47		3 596	44
島根県	717 397	46	342 991	374 406	46		4 779	40
岡山県	1 945 276	21	933 168	1 012 108	20		18 476	19
広島県	2 860 750	12	1 380 671	1 480 079	12		31 882	15
山口県	1 451 338	25	684 176	767 162	25		12 292	23
徳島県	785 491	44	372 710	412 781	44		4 076	41
香川県	995 842	40	479 951	515 891	40		6 858	34
愛媛県	1 431 493	26	673 326	758 167	27		7 828	31
高知県	764 456	45	359 134	405 322	45		3 172	47
福岡県	5 071 968	9	2 393 965	2 678 003	9		40 317	11
佐賀県	849 788	42	400 136	449 652	41		3 594	45
長崎県	1 426 779	27	665 899	760 880	26		6 498	35
熊本県	1 817 426	23	853 514	963 912	22		7 624	30
大分県	1 196 529	33	564 890	631 639	33		8 841	30
宮崎県	1 135 233	36	533 035	602 198	36		3 802	42
鹿児島県	1 706 242	24	796 896	909 346	24		5 490	37
沖縄県	1 392 818	30	683 328	709 490	31		7 651	32

資料出所 *1~4「国勢調査」総務省統計局HP

調査時点又は期間 調査周期
平成22年10月1日 5年

人口の推移 (各年10月1日現在)



注)昭和20年は11月1日現在で行われた人口調査による人口。
資料:「国勢調査」総務省統計局HP

人口増加率は2.0%

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の人口は、前回調査(平成17年)より140,313人増加し、7,194,556人(男性3,608,711人、女性3,585,845人)で全国第5位でした。本県の人口は、大正9年の第1回調査から増加が続いており、増加率は過去最低だった前回調査を上回る2.0%でした。女性100人に対する男性の数を表す人口性比を都道府県別にみると、神奈川県が100.9、次いで本県が100.64と2県で男性人口が女性人口を上回っています。

県内在住外国人の割合が上昇

県内に在住する外国人は88,734人で、前回調査に比べて8,699人(10.9%)増加しました。この結果、本県の総人口に占める外国人の割合は、前回調査より0.1ポイント上昇して1.23%でした。

~総人口に占める外国人比率の高い市町村(平成22年10月1日現在)~

「国勢調査」によると、総人口に占める外国人比率の高い市町村は、県南部の市及び県北部の群馬県境に接する市町で多くなっています。

順位	市町村	外国人比率 (%)	順位	市町村	外国人比率 (%)
1	蕨市	3.64	6	本庄市	2.19
2	上里町	2.87	7	三郷市	1.82
3	戸田市	2.72	8	神川町	1.76
4	川口市	2.71	9	和光市	1.65
5	八潮市	2.36	10	嵐山町	1.51

資料:「国勢調査」総務省統計局HP



おしえてコバトン

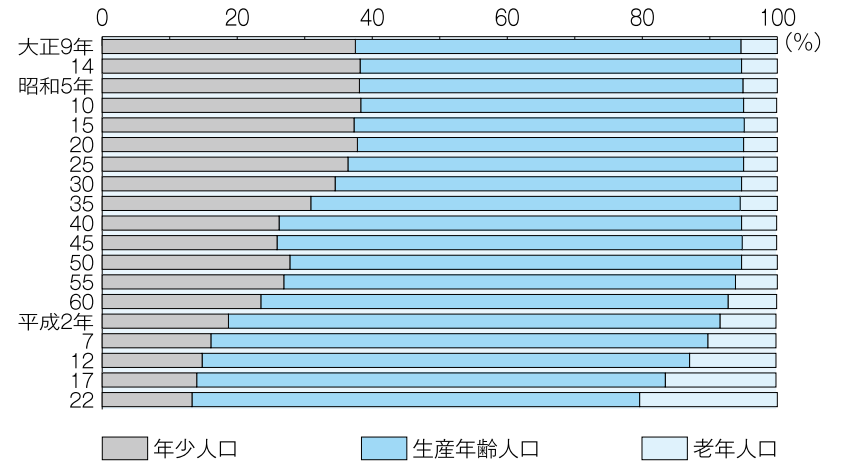
6 人口(年齢3区分別)

単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	年少人口 (0~14歳)	順位	生産年齢人口 (15~64歳)	順位	老年人口 (65歳以上)	順位	生産年齢 人口割合	順位
全 国	16 803 444		81 031 800		29 245 685		63.8	
北海道	657 312	9	3 482 169	8	1 358 068	6	63.3	14
青森県	171 842	31	843 587	31	352 768	29	61.7	24
岩手県	168 804	32	795 780	32	360 498	28	60.1	39
宮城県	308 201	14	1 501 638	14	520 794	16	64.4	7
秋田県	124 061	40	639 633	38	320 450	32	59.0	46
山形県	149 759	36	694 110	35	321 722	31	59.6	43
福島県	276 069	18	1 236 458	20	504 451	17	61.3	25
茨城県	399 638	11	1 891 701	11	665 065	12	64.0	12
栃木県	269 823	20	1 281 274	18	438 196	24	64.4	8
群馬県	275 225	19	1 251 608	19	470 520	20	62.7	17
埼玉県	953 668	5	4 749 108	5	1 464 860	5	66.3	3
千葉県	799 646	6	4 009 060	6	1 320 120	7	65.4	4
東京都	1 477 371	1	8 850 225	1	2 642 231	1	68.2	1
神奈川県	1 187 743	2	5 988 857	2	1 819 503	3	66.6	2
新潟県	301 708	15	1 441 262	15	621 187	13	61.0	27
富山県	141 936	37	662 072	37	285 102	36	60.8	29
石川県	159 283	33	725 951	33	275 337	37	62.6	18
福井県	112 192	43	485 409	43	200 942	46	60.8	30
山梨県	115 337	42	531 455	41	211 581	42	61.9	22
長野県	295 742	16	1 281 683	17	569 301	15	59.7	42
岐阜県	289 748	17	1 282 800	16	499 399	18	61.9	23
静岡県	511 575	10	2 339 915	10	891 807	10	62.5	19
愛知県	1 065 254	4	4 791 445	4	1 492 085	4	65.2	5
三重県	253 174	22	1 142 275	22	447 103	23	62.0	21
滋賀県	210 753	26	897 583	26	288 788	35	64.2	10
京都府	334 444	13	1 653 812	13	605 709	14	63.8	13
大阪府	1 165 200	3	5 648 070	3	1 962 748	2	64.4	9
兵庫県	759 277	7	3 515 442	7	1 281 486	8	63.3	15
奈良県	184 011	30	875 062	27	333 746	30	62.8	16
和歌山県	128 005	39	594 573	40	270 846	38	59.9	40
鳥取県	77 951	47	352 098	47	153 614	47	60.3	36
島根県	92 218	46	414 153	46	207 398	45	58.0	47
岡山県	264 853	21	1 178 493	21	484 718	19	61.1	26
広島県	386 810	12	1 765 036	12	676 660	11	62.4	20
山口県	184 049	29	857 956	29	404 694	25	59.3	44
徳島県	96 596	44	471 788	44	209 926	43	60.6	32
香川県	131 670	38	595 451	39	253 245	39	60.7	31
愛媛県	185 179	28	858 991	28	378 591	26	60.4	35
高知県	92 798	45	447 540	45	218 148	41	59.0	45
福岡県	684 124	8	3 227 932	9	1 123 376	9	64.1	11
佐賀県	123 447	41	515 206	42	208 096	44	60.8	28
長崎県	193 428	27	857 416	30	369 290	27	60.4	34
熊本県	249 606	23	1 093 440	23	463 266	21	60.5	33
大分県	155 634	35	717 319	34	316 750	33	60.3	37
宮崎県	158 588	34	680 854	36	291 301	34	60.2	38
鹿児島県	233 379	25	1 016 150	24	449 692	22	59.8	41
沖縄県	246 313	24	897 960	25	240 507	40	64.8	6

資料出所 *1~4「国勢調査」総務省統計局HP

調査時点又は期間 調査周期
平成22年10月1日 5年

年齢3区分別人口構成比 (各年10月1日現在)



注)昭和20年は11月1日現在で行われた人口調査による人口。
資料:「国勢調査」総務省統計局HP

減少する年少人口

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の年齢3区分別の人口は、年少人口が953,668人(本県の総人口の13.3%)、生産年齢人口が4,749,108人(同66.3%)、老年人口が1,464,860人(同20.4%)でした。

年少人口は、前回調査(平成17年)より32,693人減少し、総人口に占める割合は大正9年の第1回調査以来、最も低くなりました。

生産年齢人口割合は全国第3位

生産年齢人口は、前回調査より143,145人減少しました。また、総人口に占める割合は66.3%で前回調査に比べ3.2ポイント減少し、東京都、神奈川県に次いで全国第3位となりました。

老年人口は前回調査より約30万人増加

老年人口は、前回調査より307,854人増加しました。総人口に占める割合は20.4%で前回調査に比べ4.0ポイント上昇し、大正9年の第1回調査以来初めて20%を超えました。前回調査の老年人口の割合は全国第46位でしたが、今回は全国第43位に上昇しました。

※平成22年国勢調査から、年齢区分別人口割合の算出にあたっては、「不詳」数を分母に含めない方法に変更になりました。

◆年齢3区分別人口割合 県内順位◆

順位	人口構成比(年齢3区分別) (%)					
	年少人口 (0~14歳)		生産年齢人口 (15~64歳)		老年人口 (65歳以上)	
1	伊奈町	17.7	和光市	71.6	東秩父村	31.7
2	吉川市	16.1	戸田市	70.4	長瀨町	30.0
3	滑川町	15.4	朝霞市	69.1	小鹿野町	29.4
県平均	13.3		66.3		20.4	
62	小川町	10.0	東秩父村	58.6	朝霞市	16.7
63	東秩父村	9.7	小鹿野町	58.4	戸田市	14.4
64	鳩山町	9.0	長瀨町	57.9	和光市	14.1

資料:「国勢調査」総務省統計局HP(平成22年10月1日)

7 年齢

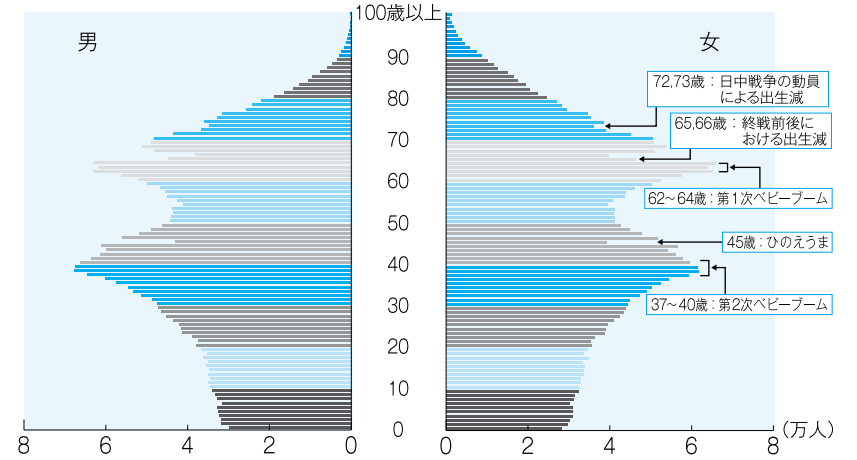
単 位	* 1 平均年齢		* 2 平均寿命(男)		* 3 平均寿命(女)		* 4 年齢100歳以上の人口	
	歳	順位	年	順位	年	順位	人	順位
全 国	45.0		78.79		85.75		43 882	
北海道	46.5	19	78.30	33	85.78	25	1 996	5
青森県	47.0	11	76.27	47	84.80	47	374	45
岩手県	47.4	7	77.81	45	85.49	37	501	35
宮城県	44.6	38	78.60	27	85.75	26	675	25
秋田県	49.3	1	77.44	46	85.19	45	405	42
山形県	47.6	5	78.54	28	85.72	27	477	38
福島県	46.1	22	77.97	42	85.45	39	685	24
茨城県	44.9	34	78.35	30	85.26	43	814	19
栃木県	44.8	37	78.01	40	85.03	46	516	31
群馬県	45.3	30	78.78	22	85.47	38	708	22
埼玉県	43.6	43	79.05	15	85.29	42	1 396	9
千葉県	44.3	40	78.95	18	85.49	36	1 431	8
東京都	43.8	42	79.36	5	85.70	28	3 744	1
神奈川県	43.4	44	79.52	3	86.03	18	2 269	3
新潟県	47.0	10	78.75	23	86.27	9	1 105	13
富山県	46.9	13	79.07	12	86.32	7	554	29
石川県	45.3	31	79.26	8	86.46	6	503	33
福井県	46.0	23	79.47	4	86.25	11	341	46
山梨県	45.8	24	78.89	21	86.17	12	392	43
長野県	46.6	18	79.84	1	86.48	5	1 000	14
岐阜県	45.3	33	79.00	16	85.56	35	658	26
静岡県	45.4	27	79.35	6	86.06	16	1 198	11
愛知県	42.9	46	79.05	14	85.40	40	1 574	7
三重県	45.4	28	78.90	20	85.58	34	605	27
滋賀県	43.1	45	79.60	2	86.17	13	432	41
京都府	44.8	36	79.34	7	85.92	19	1 137	12
大阪府	44.3	41	78.21	36	85.20	44	2 365	2
兵庫県	44.9	35	78.72	24	85.62	33	1 918	6
奈良県	45.4	29	79.25	9	85.84	24	503	33
和歌山県	47.3	8	77.97	41	85.34	41	433	40
鳥取県	46.9	14	78.26	34	86.27	8	334	47
島根県	48.4	3	78.49	29	86.57	2	515	32
岡山県	45.7	25	79.22	11	86.49	4	980	16
広島県	45.3	32	79.06	13	86.27	10	1 395	10
山口県	47.7	4	78.11	38	85.63	32	806	20
徳島県	47.6	6	78.09	39	85.67	30	377	44
香川県	46.7	17	78.91	19	85.89	20	482	37
愛媛県	47.1	9	78.25	35	85.64	31	720	21
高知県	48.4	2	77.93	44	85.87	21	486	36
福岡県	44.5	39	78.35	31	85.84	23	2 006	4
佐賀県	45.6	26	78.31	32	86.04	17	441	39
長崎県	46.8	16	78.13	37	85.85	22	700	23
熊本県	46.2	21	79.22	10	86.54	3	972	17
大分県	46.9	12	78.99	17	86.06	15	536	30
宮崎県	46.5	20	78.62	26	86.11	14	566	28
鹿児島県	46.8	15	77.97	43	85.70	29	985	15
沖縄県	40.7	47	78.64	25	86.88	1	872	18

資料出所
* 1.4 「国勢調査」総務省統計局HP
* 2.3 「都道府県別生命表」厚生労働省

調査時点又は期間
平成22年10月1日
平成17年

調査周期
5年
5年

埼玉県の人口ピラミッド (平成24年1月1日現在)



資料：「埼玉県町(丁)字別人口調査」県統計課

全国で第5番目に若い県

「国勢調査」によると、平均年齢は、前回調査(平成17年)では全国で4番目に若い41.8歳でしたが、平成22年10月1日現在、1.8歳上昇して43.6歳となり、沖縄県、愛知県、滋賀県、神奈川県に続いて5番目に若い県となりました。

年齢100歳以上人口は20年前の25倍に増加

「都道府県別生命表」によると、平成17年の国勢調査等を基に算出した本県の平均寿命は、男性が79.05年、女性が85.29年で、30年前(昭和50年)より男性は7.17年、女性は8.68年上昇しました。

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の年齢100歳以上の人口は1,396人で、20年前(55人）の約25倍に増加しました。

30歳代人口が最多

「埼玉県町(丁)字別人口調査」によると、平成24年1月1日現在の人口を年齢階級別にみると、30歳代が1,097,628人で総数の15.1%を占め最も多く、次いで60歳代が1,073,556人で同14.8%、40歳代が1,068,541人で同14.7%と続いています。

$$\text{平均年齢} = \text{年齢(各歳)} \times \text{各歳別人口} \div \text{各歳別人口の合計} + 0.5$$

※表*2.3の順位は、厚生労働省公表の順位です。

～市町村の平均年齢～

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在、県内で最も平均年齢が高い市町村は東秩父村の51.1歳で、最も平均年齢が低い市町村は和光市の39.6歳でした。

単位：歳

順位	平均年齢が高い		順位	平均年齢が低い	
1	東秩父村	51.1	1	和光市	39.6
2	鳩山町	49.8	2	戸田市	39.7
3	皆野町	49.0	3	伊奈町	40.4
4	長瀬町	49.0	4	朝霞市	41.1
5	小鹿野町	48.8	5	吉川市	41.5



おしえてコバトン

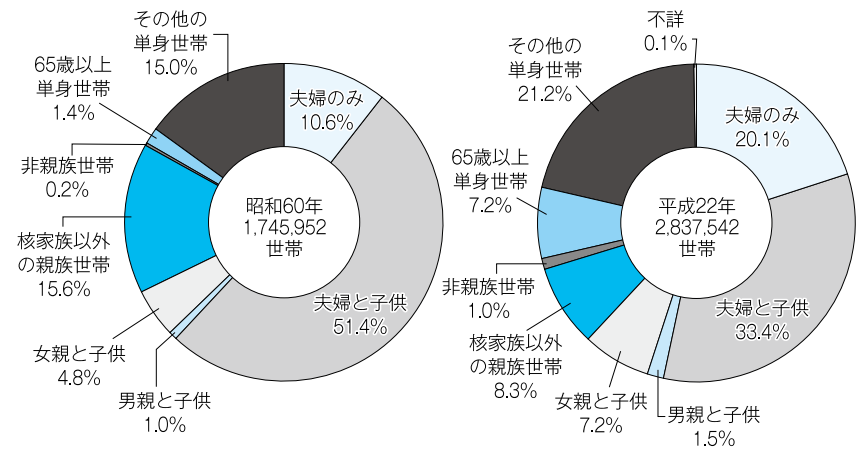
8 世帯

単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	一般世帯数		1世帯当たり人員 (一般世帯)		核家族世帯割合 (一般世帯)		高齢単身世帯割合 (一般世帯)	
	世帯	順位	人	順位	%	順位	%	順位
全 国	51 842 307		2.42		56.3		9.2	
北海道	2 418 305	7	2.21	46	57.5	21	10.8	10
青森県	511 427	31	2.61	20	53.7	37	9.9	18
岩手県	482 845	32	2.69	11	51.1	45	9.0	24
宮城県	900 352	14	2.56	25	52.4	39	7.0	45
秋田県	389 095	38	2.71	8	52.1	43	10.1	14
山形県	387 682	39	2.94	1	48.3	46	7.7	39
福島県	719 441	22	2.76	7	52.5	38	8.3	31
茨城県	1 086 715	13	2.68	12	57.7	16	6.9	46
栃木県	744 193	19	2.65	15	55.6	30	7.1	44
群馬県	754 324	17	2.61	19	59.4	9	8.3	30
埼玉県	2 837 542	5	2.50	28	62.2	2	7.2	43
千葉県	2 512 441	6	2.44	34	59.5	8	7.6	40
東京都	6 382 049	1	2.03	47	48.2	47	9.8	21
神奈川県	3 830 111	2	2.33	41	59.3	10	8.1	34
新潟県	837 387	15	2.77	6	52.2	40	7.8	38
富山県	382 431	40	2.79	4	53.9	36	8.2	33
石川県	440 247	35	2.58	22	54.2	35	8.2	32
福井県	274 818	45	2.86	2	52.1	42	7.8	37
山梨県	327 075	41	2.58	23	57.7	17	9.0	26
長野県	792 831	16	2.66	13	56.7	25	8.7	29
岐阜県	735 702	20	2.78	5	57.4	22	7.8	35
静岡県	1 397 173	10	2.65	16	56.4	26	7.6	41
愛知県	2 929 943	4	2.49	30	57.5	20	7.4	42
三重県	703 237	23	2.59	21	58.7	12	8.9	27
滋賀県	517 049	30	2.69	10	57.7	19	6.6	47
京都府	1 120 440	12	2.31	42	55.2	34	9.9	19
大阪府	3 823 279	3	2.28	44	57.2	23	11.3	8
兵庫県	2 252 522	8	2.44	33	60.5	4	10.6	12
奈良県	522 600	28	2.63	17	64.0	1	9.0	25
和歌山県	392 842	36	2.50	29	60.1	7	12.8	3
鳥取県	211 396	47	2.71	9	52.1	41	9.2	23
島根県	260 921	46	2.66	14	51.5	44	10.5	13
岡山県	752 878	18	2.52	26	56.4	27	9.5	22
広島県	1 183 036	11	2.36	38	57.9	15	10.1	15
山口県	596 231	25	2.36	39	58.8	11	12.6	4
徳島県	301 546	43	2.52	27	55.4	31	10.7	11
香川県	389 652	37	2.49	31	57.7	18	9.8	20
愛媛県	589 676	26	2.37	37	58.6	13	11.8	5
高知県	321 004	42	2.30	43	55.8	28	13.9	2
福岡県	2 106 654	9	2.35	40	55.2	33	10.0	17
佐賀県	294 120	44	2.80	3	55.3	32	8.8	28
長崎県	556 895	27	2.47	32	58.2	14	11.4	7
熊本県	686 123	24	2.57	24	55.7	29	10.1	16
大分県	480 443	33	2.41	35	56.8	24	11.1	9
宮崎県	459 177	34	2.40	36	60.1	5	11.6	6
鹿児島県	727 273	21	2.27	45	60.1	6	14.1	1
沖縄県	519 184	29	2.63	18	60.5	3	7.8	36

資料出所 *1~4 「国勢調査」総務省統計局HP

調査時点又は期間 調査周期
平成22年10月1日 5年

埼玉県の家族類型別一般世帯構成比



資料：「国勢調査」総務省統計局HP

増加する世帯数と進む世帯の小規模化

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の総世帯数は2,841,595世帯で、そのうち一般世帯数は2,837,542世帯、施設等の世帯数は4,053世帯でした。一般世帯数は、前回調査(平成17年)と比べると206,919世帯(7.9%)増加しました。

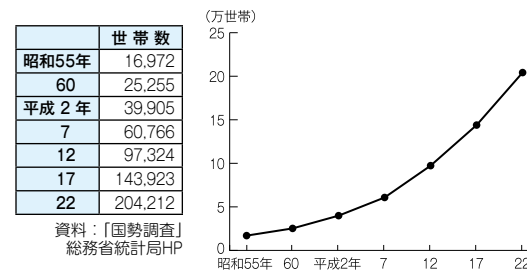
一般世帯の1世帯当たり人員は2.50人で、全国平均(2.42人)を上回ったものの、前回調査より0.14人減少しました。1世帯当たり人員は、前回調査(平成17年)と比べるとすべての都道府県で減少しており、世帯の小規模化が進んでいます。

核家族世帯割合は全国第2位

家族類型別に一般世帯をみると、核家族世帯が1,763,958世帯で一般世帯の62.2%を占めており、この割合は全国第2位でした。また、核家族世帯のうち、夫婦のみの世帯は569,701世帯(一般世帯の20.1%)、夫婦と子供から成る世帯は947,579世帯(同33.4%)でした。

高齢(65歳以上)単身世帯は、前回調査より60,289世帯(41.9%)増加して204,212世帯で、一般世帯に占める割合は7.2%でした。

～高齢単身世帯数の推移～



「国勢調査」によると、県内の高齢(65歳以上)単身世帯数は、昭和55年には16,972世帯でしたが、平成22年には204,212世帯に達し、30年間で約12倍に増加しました。



おしえてコバトン

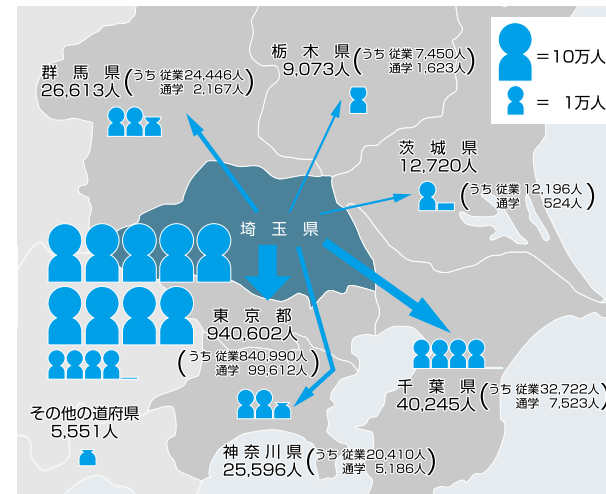
9 昼間人口

単 位	* 1 昼間人口		* 2 昼夜間人口比率		* 3 流入人口		* 4 流出人口	
	人	順位	—	順位	人	順位	人	順位
全 国	128 057 352		100.0		5 511 606		5 511 606	
北海道	5 504 418	7	100.0	19	2 728	44	4 740	43
青森県	1 374 008	29	100.0	13	5 622	40	4 967	42
岩手県	1 326 160	31	99.7	32	7 428	32	11 390	27
宮城県	2 351 980	15	100.2	9	19 369	21	15 593	26
秋田県	1 084 598	38	99.9	24	1 901	45	3 297	45
山形県	1 166 872	35	99.8	28	4 354	42	6 401	38
福島県	2 021 216	17	99.6	33	10 782	25	18 616	24
茨城県	2 886 651	11	97.2	40	75 673	9	159 224	8
栃木県	1 990 152	20	99.1	36	54 677	12	72 344	13
群馬県	2 005 137	18	99.9	27	55 338	11	58 261	16
埼玉県	6 373 489	5	88.6	47	246 144	4	1 060 400	2
千葉県	5 560 489	6	89.5	46	180 644	7	833 129	3
東京都	15 576 130	1	118.4	1	2 866 367	1	466 534	4
神奈川県	8 254 193	3	91.2	44	300 333	3	1 087 143	1
新潟県	2 374 633	14	100.0	17	4 878	41	4 695	44
富山県	1 091 323	37	99.8	29	6 362	38	8 287	32
石川県	1 172 269	34	100.2	7	10 602	26	8 133	33
福井県	806 735	43	100.1	12	6 206	39	5 788	39
福山県	854 854	41	99.0	37	9 254	28	17 478	25
長野県	2 149 477	16	99.9	25	7 348	33	10 270	28
岐阜県	1 997 546	19	96.0	42	43 934	14	126 837	10
静岡県	3 759 757	10	99.9	26	31 728	17	37 028	17
愛知県	7 520 876	4	101.5	3	186 550	5	76 646	12
三重県	1 820 180	22	98.1	38	28 713	19	63 168	14
滋賀県	1 363 302	30	96.6	41	43 002	15	89 790	11
京都府	2 668 371	13	101.2	4	184 794	6	154 075	9
大阪府	9 280 560	2	104.7	2	668 317	2	251 710	6
兵庫県	5 347 839	8	95.7	43	133 309	8	371 973	5
奈良県	1 259 517	32	89.9	45	53 360	13	195 872	7
和歌山県	982 982	40	98.1	39	16 981	22	36 758	18
鳥取県	588 523	47	100.0	18	7 682	31	7 837	35
島根県	717 522	46	100.0	16	8 194	30	8 066	34
岡山県	1 943 176	21	99.9	21	19 547	20	21 963	21
広島県	2 868 553	12	100.3	5	30 035	18	22 213	20
山口県	1 444 127	25	99.5	35	12 976	23	20 011	22
徳島県	783 270	44	99.7	31	3 541	43	5 786	40
香川県	997 863	39	100.2	8	9 014	29	7 011	36
愛媛県	1 433 252	26	100.1	10	7 254	34	5 512	41
高知県	763 479	45	99.9	23	1 795	46	2 731	46
福岡県	5 078 054	9	100.1	11	65 238	10	59 252	15
佐賀県	851 631	42	100.2	6	36 553	16	34 842	19
長崎県	1 423 274	27	99.8	30	6 492	37	9 991	29
熊本県	1 809 829	23	99.6	34	11 317	24	18 861	23
大分県	1 196 808	33	100.0	15	10 023	27	9 706	30
宮崎県	1 135 601	36	100.0	14	7 205	36	6 848	37
鹿児島県	1 704 396	24	99.9	22	7 252	35	9 104	31
沖縄県	1 392 280	28	100.0	20	790	47	1 325	47

資料出所 *1~4「国勢調査」総務省統計局HP

調査時点又は期間 平成22年10月1日 調査周期 5年

他県に就業・通学する就業者及び通学者数 (平成22年10月1日現在)



注)15歳以上。年齢不詳者を除く。資料:「国勢調査」総務省統計局HP

他県での就業・通学者数は全国第2位

「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の昼間人口は、前回調査(平成17年)より214,525人(3.5%)増加して6,373,489人で、全国第5位でした。一方、常住人口(夜間人口)は7,194,556人でした。昼夜間人口比率は88.6で、前回調査に続き全国第47位でした。

本県に常住する15歳以上の就業者・通学者は3,879,297人で、そのうち他県で就業・通学している者(流出人口)は1,060,400人で、全国第2位でした。

他県での就業・通学者は、東京都への940,602人が最多でしたが、前回調査(平成17年)より61,577人減少しました。次いで千葉県への40,245人、群馬県への26,613人の順でした。

一方、他都道府県に常住する15歳以上の就業者・通学者のうち、本県で就業・通学している者(流入人口)は246,144人で、全国第4位でした。

他県からの就業・通学者は、東京都からの136,130人が最も多く、次いで千葉県からの38,557人、群馬県からの25,902人の順でした。

常住人口 調査時にふだん住んでいる場所における人口

昼間人口 昼間活動している場所における人口のことで、常住人口から就業・通学(15歳未満通学者を含む。)による流出人口及び流入人口を加減した人口

~市町村の昼夜間人口比率~

順位	昼夜間人口比率が低い(流出超過)	順位	昼夜間人口比率が高い(流入超過)
1	富士見市 72.4	1	三芳町 113.1
2	鳩ヶ谷市(現川口市の一部) 75.6	2	嵐山町 104.5
3	東秩父村 76.4	3	美里町 100.8
4	白岡町(現白岡市) 77.0	4	本庄市 100.8
5	松伏町 78.2	5	滑川町 100.4

昼夜間人口比率とは、当該市区町村常住人口100人当たりからみた昼間人口の割合をいいます。昼夜間人口比率が100を下回っている場合は、他市区町村への就業・通学者等の流出が流入を上回っており(流出超過)、100を超えていれば、他市区町村からの流入が流出を上回っている(流入超過)ことを表しています。

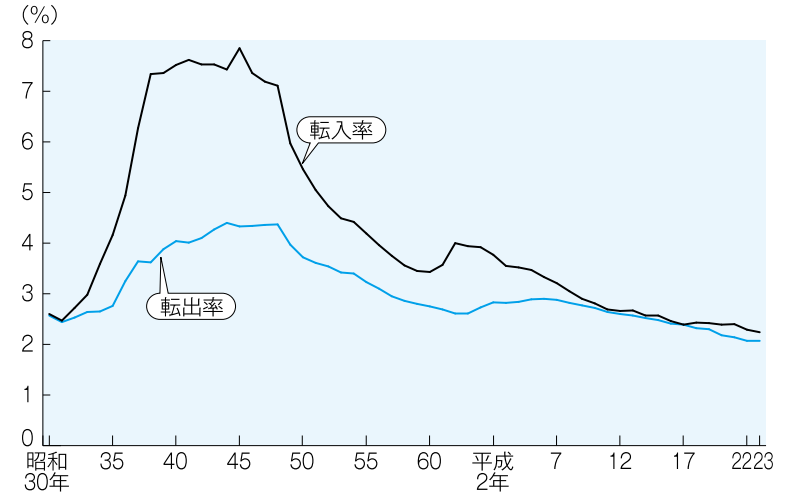


おしえてコバトン

10 転入・転出

転入率と転出率

単 位	* 1 他都道府県からの転入者数		* 2 他都道府県への転出者数		* 3 転入超過数		* 4 転入超過率	
	人	順位	人	順位	人	順位	%	順位
全 国	2 338 519		2 338 519		-		-	
北海道	51 998	11	54 480	10	△2 482	39	△ 0.05	17
青森県	20 089	32	23 345	30	△3 256	41	△ 0.24	42
岩手県	18 756	34	22 199	31	△3 443	42	△ 0.26	44
宮城県	47 662	13	54 064	11	△6 402	46	△ 0.28	45
秋田県	13 169	40	15 859	39	△2 690	40	△ 0.25	43
山形県	15 259	38	16 172	38	△913	19	△ 0.08	25
福島県	21 741	29	53 122	13	△31 381	47	△ 1.58	47
茨城県	46 329	14	51 080	14	△4 751	45	△ 0.16	37
栃木県	32 071	15	33 485	16	△1 414	29	△ 0.07	22
群馬県	27 260	22	28 510	24	△1 250	27	△ 0.06	19
埼玉県	159 200	3	147 057	4	12 143	2	0.17	5
千葉県	138 402	5	142 337	5	△3 935	43	△ 0.06	19
東京都	394 116	1	349 634	1	44 482	1	0.35	1
神奈川県	210 631	2	200 512	2	10 119	3	0.11	6
新潟県	24 711	26	26 881	26	△2 170	37	△ 0.09	27
富山県	12 978	41	13 318	42	△340	14	△ 0.03	15
石川県	17 161	36	17 915	36	△754	16	△ 0.07	22
福井県	9 123	47	10 154	47	△1 031	23	△ 0.13	31
山梨県	13 265	39	15 111	40	△1 846	31	△ 0.22	41
長野県	28 731	19	28 807	22	△76	13	△ 0.00	12
岐阜県	27 016	23	29 367	20	△2 351	38	△ 0.12	30
静岡県	52 784	10	54 858	9	△2 074	36	△ 0.06	19
愛知県	108 601	6	102 222	6	6 379	5	0.09	7
三重県	28 019	20	28 987	21	△968	21	△ 0.05	17
滋賀県	27 639	21	24 525	28	3 114	8	0.22	3
京都府	53 997	9	53 960	12	37	11	0.00	11
大阪府	156 059	4	151 156	3	4 903	6	0.06	8
兵庫県	93 085	8	91 851	8	1 234	9	0.02	10
奈良県	25 330	25	27 295	25	△1 965	33	△ 0.14	32
和歌山県	12 382	42	14 357	41	△1 975	34	△ 0.20	40
鳥取県	9 300	46	10 359	46	△1 059	24	△ 0.18	38
島根県	10 901	43	11 894	43	△993	22	△ 0.14	32
岡山県	29 998	17	29 393	19	605	10	0.03	9
広島県	47 773	12	48 730	15	△957	20	△ 0.03	15
山口県	23 278	28	25 270	27	△1 992	35	△ 0.14	32
徳島県	10 254	44	11 386	45	△1 132	25	△ 0.15	36
香川県	18 377	35	18 418	35	△41	12	△ 0.00	12
愛媛県	18 848	33	20 774	34	△1 926	32	△ 0.14	32
高知県	10 103	45	11 542	44	△1 439	30	△ 0.19	39
福岡県	103 497	7	93 778	7	9 719	4	0.19	4
佐賀県	16 427	37	17 195	37	△768	17	△ 0.09	27
長崎県	24 226	27	28 559	23	△4 333	44	△ 0.31	46
熊本県	29 909	18	30 305	18	△396	15	△ 0.02	14
大分県	20 532	31	21 339	33	△807	18	△ 0.07	22
宮崎県	20 737	30	21 932	32	△1 195	26	△ 0.11	29
鹿児島県	30 109	16	31 486	17	△1 377	28	△ 0.08	25
沖縄県	26 686	24	23 539	29	3 147	7	0.23	2



資料：「住民基本台帳人口移動報告年報」総務省統計局HP

転入超過数は全国第2位

「住民基本台帳人口移動報告年報」によると、平成23年の住民基本台帳上の他都道府県からの転入者数は、前年よりも3,283人減少して、159,200人で、全国第3位でした。内訳は、東京都からの転入が最も多く58,953人、次いで千葉県から13,917人、神奈川県から13,419人の順でした。

また、他都道府県への転出者数は、前年より2人減少して147,057人で、全国第4位でした。内訳は、東京都への転出が最も多く56,338人、次いで神奈川県へ13,584人、千葉県へ12,882人の順でした。

転入者数と転出者数を比べると、昭和30年以降、転出者より転入者の多い転入超過の状況が続いていましたが、平成17年は51年ぶりに転出者が多い転出超過となりました。しかし、平成18年から再び転入超過となり、平成23年の転入超過数は12,143人で、東京都に次いで全国第2位でした。なお、転入超過率は0.17%で、全国第5位でした。

◆都道府県別人口動態(平成23年度)◆

自然増加の大きい都道府県			
順位	自然増減数(人)	自然増減率(%)	
1	愛知県 8,025	沖縄県 0.46	
2	沖縄県 6,531	愛知県 0.11	
3	神奈川県 4,081	滋賀県 0.09	
4	滋賀県 1,282	神奈川県 0.05	
5	埼玉県 △807	東京都 △0.01	
6	東京都 △960	埼玉県 △0.01	

社会増加の大きい都道府県			
順位	社会増減数(人)	社会増減率(%)	
1	東京都 37,770	東京都 0.30	
2	埼玉県 9,381	沖縄県 0.20	
3	福岡県 8,300	福岡県 0.16	
4	神奈川県 6,697	滋賀県 0.16	
5	愛知県 5,522	埼玉県 0.13	
6	大阪府 4,019	愛知県 0.08	

自然減少の大きい都道府県			
順位	自然増減数(人)	自然増減率(%)	
43	新潟県 △9,967	島根県 △0.52	
44	福島県 △10,301	山形県 △0.55	
45	宮城県 △10,876	高知県 △0.60	
46	岩手県 △11,684	秋田県 △0.74	
47	北海道 △18,582	岩手県 △0.88	

社会減少の大きい都道府県			
順位	社会増減数(人)	社会増減率(%)	
43	青森県 △5,659	秋田県 △0.31	
44	茨城県 △6,054	長崎県 △0.32	
45	北海道 △6,118	岩手県 △0.40	
46	千葉県 △11,828	青森県 △0.41	
47	福島県 △33,980	福島県 △1.67	

資料出所 *1~4「住民基本台帳人口移動報告年報」総務省統計局HP

調査時点又は期間 調査周期 平成23年 毎年

資料：「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」総務省HP(平成24年3月31日現在)

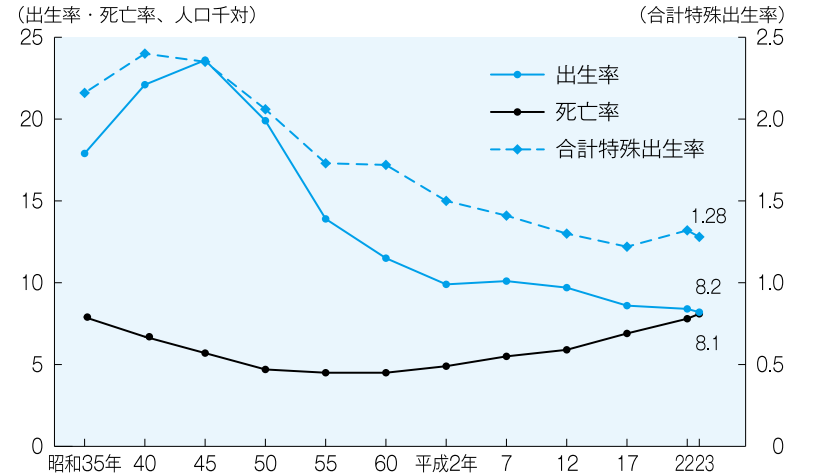
11 出生

単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	出生数 人	順位	出生率 (人口千対)	順位	自然増加率 (人口千対)	順位	合計特殊出生率	順位
全 国	1 050 806		8.3		△ 1.6		1.39	
北海道	39 292	9	7.2	43	△ 3.2	28	1.25	45
青森県	9 531	34	7.0	45	△ 5.1	40	1.38	36
岩手県	9 310	35	7.1	44	△ 10.0	47	1.41	31
宮城県	18 062	14	7.8	34	△ 6.9	45	1.25	44
秋田県	6 658	42	6.2	47	△ 7.4	46	1.35	38
山形県	8 555	36	7.4	41	△ 5.5	42	1.46	22
福島県	15 072	25	7.6	36	△ 5.6	43	1.48	19
茨城県	23 219	12	8.0	30	△ 2.3	20	1.39	33
栃木県	15 913	21	8.1	26	△ 2.3	21	1.38	35
群馬県	15 637	22	8.0	31	△ 2.7	25	1.41	28
埼玉県	58 059	5	8.2	25	0.1	5	1.28	41
千葉県	50 379	6	8.2	24	△ 0.2	7	1.31	39
東京都	106 027	1	8.2	23	0.0	6	1.06	47
神奈川県	76 000	2	8.5	12	0.6	4	1.27	42
新潟県	17 667	15	7.5	39	△ 4.1	35	1.41	29
富山県	7 823	38	7.3	42	△ 4.1	36	1.37	37
石川県	9 555	33	8.3	22	△ 2.1	17	1.43	26
福井県	6 728	41	8.5	14	△ 2.6	24	1.56	10
山梨県	6 412	43	7.6	37	△ 3.5	31	1.41	30
長野県	16 917	17	8.0	28	△ 3.3	29	1.50	16
岐阜県	16 851	18	8.3	21	△ 2.1	15	1.44	24
静岡県	31 172	10	8.4	17	△ 1.7	13	1.49	17
愛知県	68 973	4	9.5	3	1.3	2	1.46	23
三重県	15 080	24	8.3	20	△ 2.3	22	1.47	21
滋賀県	13 338	26	9.6	2	1.0	3	1.51	15
京都府	20 707	13	8.0	29	△ 1.6	12	1.25	46
大阪府	73 919	3	8.5	13	△ 0.6	9	1.30	40
兵庫県	47 351	7	8.6	11	△ 0.9	10	1.40	32
奈良県	10 400	30	7.5	40	△ 2.1	16	1.27	43
和歌山県	7 460	40	7.5	38	△ 4.9	39	1.49	18
鳥取県	4 931	47	8.5	15	△ 3.5	32	1.58	8
島根県	5 582	45	7.9	32	△ 5.4	41	1.61	5
岡山県	16 635	19	8.7	10	△ 2.0	14	1.48	20
広島県	25 469	11	9.0	6	△ 1.1	11	1.53	12
山口県	11 222	29	7.8	33	△ 4.7	38	1.52	13
徳島県	5 914	44	7.6	35	△ 4.5	37	1.43	25
香川県	8 311	37	8.4	18	△ 3.1	26	1.56	9
愛媛県	11 329	28	8.0	27	△ 4.0	34	1.51	14
高知県	5 244	46	6.9	46	△ 6.1	44	1.39	34
福岡県	46 220	8	9.2	4	△ 0.4	8	1.42	27
佐賀県	7 613	39	9.0	5	△ 2.2	19	1.61	6
長崎県	11 727	27	8.3	19	△ 3.5	33	1.60	7
熊本県	16 118	20	8.9	9	△ 2.2	18	1.62	4
大分県	9 988	32	8.4	16	△ 3.2	27	1.55	11
宮崎県	10 152	31	9.0	7	△ 2.5	23	1.68	2
鹿児島県	15 244	23	9.0	8	△ 3.4	30	1.64	3
沖縄県	16 918	16	12.1	1	4.5	1	1.86	1

資料出所 *1~4「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省HP

調査時点又は期間 調査周期
平成23年 毎年

出生率・死亡率及び合計特殊出生率



減少が続く出生数

「人口動態統計(確定数)の概況」及び「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると、平成23年の出生数は前年より1,378人減少して、58,059人(男29,918人、女28,141人)で全国第5位でした。出生数は、昭和48年の106,008人をピークに平成2年まで減少し続け、その後増加した年もありますが、全体として減少傾向にあります。

また、出生率は8.2で、前年より0.2ポイント下回りました。出生率は、第2次ベビーブームの昭和46年の24.0以降低下を続け、平成元年ころから10.0前後で推移していました。しかし、平成13年以降は低下が続き、平成18年は上昇したものの、平成19年から再び低下が続いています。

自然増加率は全国第5位

自然増加率は0.1で、前年より0.5ポイント低下したものの、全国第5位でした。合計特殊出生率は前年より0.04ポイント低下し、1.28でした。

※表*1~3の全国値は住所が外国の者を含みます。

※表*2~4の比率算出に用いた日本人人口は、平成23年10月1日現在人口推計(総務省統計局)です。また、順位は、県保健医療政策公表の順位です。

出生率 出生数÷日本人人口×1,000

自然増加率 自然増加数(出生数-死亡数)÷日本人人口×1,000

合計特殊出生率 15~49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に子どもを生むとしたときの子どもの数に相当します。

~出生率の高い市町村は?~

平成23年の「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると、人口1,000人に対する出生率で最も高率だったのは、滑川町の12.2、次いで戸田市の11.3、和光市の11.0の順でした。また、低率だったのは、東秩父村の2.7、鳩山町の3.8、吉見町の4.3の順でした。



おしえてコバトン

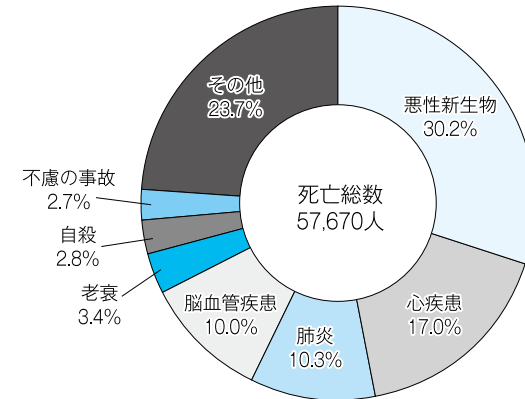
12 死亡

死因別死亡数構成比 (平成23年)

単 位	* 1 死亡数 (総数)		* 2 死亡率 (人口千対)		* 3 死亡数 (悪性新生物)		* 4 死亡数 (心疾患)	
	人	順位	—	順位	人	順位	人	順位
全 国	1 253 066		9.9		357 305		194 926	
北海道	56 970	6	10.4	29	18 137	4	9 398	5
青森県	16 419	29	12.1	12	4 803	26	2 685	28
岩手県	22 335	18	17.1	1	4 273	29	2 870	26
宮城県	33 975	11	14.7	2	6 253	15	3 705	17
秋田県	14 642	31	13.7	3	4 044	31	2 308	31
山形県	14 880	30	12.9	7	4 014	32	2 288	32
福島県	26 106	15	13.2	5	6 192	16	4 473	13
茨城県	29 910	12	10.2	33	8 137	12	4 844	11
栃木県	20 469	22	10.4	30	5 535	20	3 437	19
群馬県	20 930	21	10.6	26	5 748	19	3 234	20
埼玉県	57 670	5	8.1	45	17 424	6	9 785	4
千葉県	51 689	8	8.4	42	15 277	8	9 200	6
東京都	105 723	1	8.2	44	32 131	1	15 872	1
神奈川県	70 946	3	7.9	46	22 279	3	10 459	3
新潟県	27 319	14	11.6	17	7 589	13	4 295	15
富山県	12 264	36	11.4	20	3 408	38	1 790	39
石川県	11 962	37	10.3	31	3 454	36	1 918	38
福井県	8 757	46	11.0	25	2 398	46	1 492	42
山梨県	9 358	45	11.1	24	2 541	44	1 409	46
長野県	23 887	17	11.3	21	6 142	17	3 725	16
岐阜県	21 053	19	10.3	32	5 787	18	3 619	18
静岡県	37 303	10	10.1	35	10 235	10	5 730	9
愛知県	59 720	4	8.2	43	17 596	5	8 454	7
三重県	19 271	25	10.6	28	5 218	24	2 841	27
滋賀県	11 884	38	8.5	41	3 417	37	2 013	36
京都府	24 733	16	9.5	38	7 421	14	4 301	14
大阪府	78 952	2	9.1	40	25 219	2	12 494	2
兵庫県	52 259	7	9.5	39	16 022	7	7 898	8
奈良県	13 267	33	9.6	36	4 061	30	2 398	30
和歌山県	12 310	35	12.4	9	3 457	35	2 140	34
鳥取県	6 958	47	12.0	14	2 016	47	1 092	47
島根県	9 412	44	13.3	4	2 543	43	1 477	43
岡山県	20 407	23	10.6	27	5 400	22	3 210	21
広島県	28 608	13	10.1	34	8 151	11	4 770	12
山口県	17 884	26	12.5	8	4 888	25	2 980	25
徳島県	9 435	43	12.2	11	2 454	45	1 451	44
香川県	11 316	39	11.5	19	2 947	39	1 953	37
愛媛県	16 950	27	12.0	13	4 552	28	3 131	24
高知県	9 884	41	13.1	6	2 683	42	1 696	40
福岡県	48 112	9	9.5	37	14 754	9	5 660	10
佐賀県	9 472	42	11.2	22	2 849	40	1 413	45
長崎県	16 645	28	11.8	15	4 764	27	2 647	29
熊本県	20 008	24	11.1	23	5 314	23	3 184	22
大分県	13 806	32	11.7	16	3 749	33	2 100	35
宮崎県	12 980	34	11.5	18	3 484	34	2 244	33
鹿児島県	21 047	20	12.4	10	5 529	21	3 155	23
沖縄県	10 686	40	7.7	47	2 837	41	1 530	41

資料出所 *1~4「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省HP

調査時点又は期間 調査周期
平成23年 毎年



資料：「埼玉県の人口動態概況(確定数)」県保健医療政策課HP

死亡数は増加

「人口動態統計(確定数)の概況」及び「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると、平成23年の死亡数は前年より2,183人増加して、57,670人(男性31,525人、女性26,145人)で全国第5位でした。死亡率は前年より0.3ポイント増加して8.1でした。死亡率は昭和35年から昭和55年まで低下傾向が続き、以降4.5前後で推移していましたが、昭和61年以降上昇傾向に転じました。

肺炎が脳血管疾患を抜き、死因第3位に

死亡数を死因別にみると、悪性新生物が17,424人(死亡総数の30.2%)と最も多く、次いで心疾患9,785人(同17.0%)、肺炎5,949人(同10.3%)、脳血管疾患5,790人(同10.0%)、老衰1,938人(同3.4%)、自殺1,586人(同2.8%)、不慮の事故1,536人(同2.7%)の順でした。また、年齢階級別に死因別割合をみると、10~30歳代は自殺、40~80歳代は悪性新生物、90歳以上は心疾患の割合が最も高くなりました。

※表*1~4の全国計は住所が外国・不詳の者を含みます。

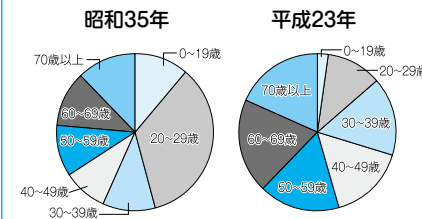
※表*2の順位は、県保健医療政策課公表の順位です。

※表*4、グラフ及び文中の心疾患の死亡数は、高血圧性を除きます。

死亡率 死亡数÷日本人人口×1,000

※日本人人口は、平成23年10月1日現在人口推計(総務省統計局)です。

~自殺による年齢階級別死亡数割合~



「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると、自殺による年齢階級別死亡数は、昭和35年は20代以下が46.0%を占め、60代以上は23.5%でした。平成23年は20代以下は13.7%であるのに対し、60代以上が37.6%を占め、高齢者の自殺割合が急増しています。また、全体の自殺者の半数以上を50代以上が占めています。

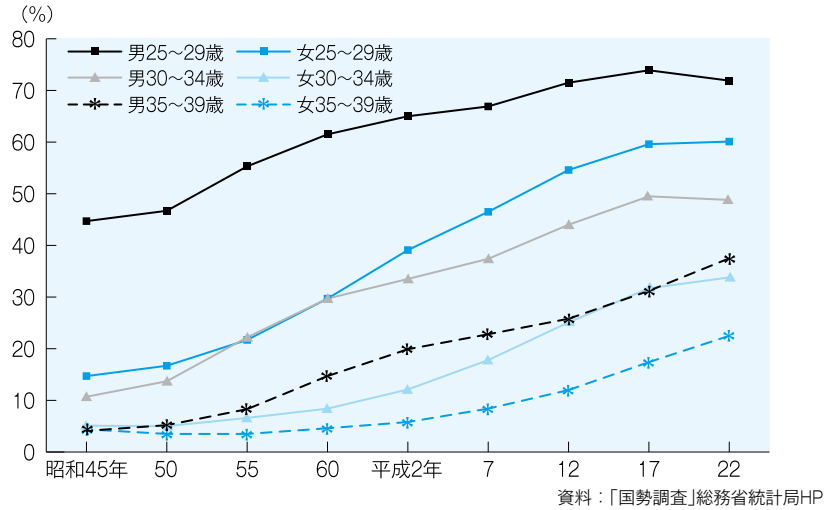
資料：「埼玉県の人口動態概況(確定数)」県保健医療政策課HP



13 婚姻・離婚

年齢階級別未婚率

単 位	* 1		* 2		* 3		* 4	
	婚姻件数		離婚件数		平均初婚年齢(夫)		平均初婚年齢(妻)	
	件	順位	件	順位	歳	順位	歳	順位
全 国	661 895		235 719		30.7		29.0	
北海道	26 518	9	11 847	6	30.2	27	28.7	15
青森県	5 583	32	2 377	30	30.2	27	28.4	32
岩手県	5 344	35	2 038	34	30.4	17	28.4	32
宮城県	11 409	14	3 826	14	30.2	27	28.6	17
秋田県	4 058	40	1 555	39	30.3	22	28.6	17
山形県	4 739	37	1 703	38	30.1	31	28.3	43
福島県	8 796	22	3 341	21	29.6	47	27.8	47
茨城県	14 381	12	5 079	12	30.6	11	28.6	17
栃木県	10 069	16	3 654	15	30.4	17	28.6	17
群馬県	9 147	20	3 530	17	30.6	11	28.8	13
埼玉県	36 227	5	13 547	4	31.1	3	29.2	4
千葉県	32 186	6	11 591	7	31.0	5	29.1	7
東京都	86 888	1	24 927	1	31.9	1	30.1	1
神奈川県	50 806	2	16 792	3	31.5	2	29.6	2
新潟県	10 278	15	3 253	24	30.5	13	28.7	15
富山県	4 628	38	1 432	42	30.7	8	28.8	13
石川県	5 467	34	1 711	37	30.3	22	28.6	17
福井県	3 727	43	1 171	45	30.3	22	28.5	28
山梨県	3 922	42	1 511	41	31.0	5	29.1	7
長野県	9 985	17	3 443	19	31.1	3	29.2	4
岐阜県	9 647	19	3 385	20	30.4	17	28.4	32
静岡県	19 093	10	6 804	10	30.5	13	28.6	17
愛知県	42 425	4	13 451	5	30.5	13	28.6	17
三重県	8 947	21	3 264	23	30.2	27	28.4	32
滋賀県	7 567	26	2 341	32	30.4	17	28.6	17
京都府	12 900	13	4 713	13	30.9	7	29.3	3
大阪府	48 581	3	19 407	2	30.7	8	29.2	4
兵庫県	28 283	7	10 308	9	30.4	17	28.9	11
奈良県	6 260	30	2 423	28	30.7	8	29.0	10
和歌山県	4 601	39	1 890	35	29.9	38	28.4	32
鳥取県	2 697	47	1 041	47	30.1	31	28.5	28
島根県	3 058	46	1 043	46	30.3	22	28.5	28
岡山県	9 665	18	3 493	18	30.0	34	28.4	32
広島県	14 849	11	5 133	11	30.1	31	28.6	17
山口県	6 549	27	2 414	29	29.9	38	28.4	32
徳島県	3 380	44	1 367	44	30.0	34	28.5	28
香川県	4 896	36	1 765	36	30.0	34	28.4	32
愛媛県	6 445	28	2 666	26	29.9	38	28.4	32
高知県	3 099	45	1 406	43	30.5	13	29.1	7
福岡県	28 008	8	10 653	8	30.3	22	28.9	11
佐賀県	4 015	41	1 516	40	29.9	38	28.3	43
長崎県	6 337	29	2 435	27	29.9	38	28.6	17
熊本県	8 730	23	3 291	22	29.7	46	28.3	43
大宮	5 667	31	2 110	33	30.0	34	28.6	17
大宮	5 512	33	2 354	31	29.8	45	28.4	32
鹿児島県	8 125	25	3 148	25	29.9	38	28.4	32
沖縄県	8 401	24	3 570	16	29.9	38	28.3	43



婚姻件数、離婚件数とも減少

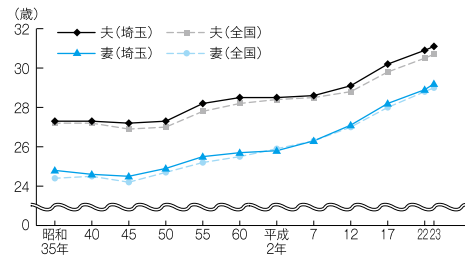
「人口動態統計(確定数)の概況」及び「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると、平成23年の婚姻件数は、前年より2,933件減少して36,227件で、婚姻率は前年より0.4ポイント低下して5.1でした。
また、離婚件数は、前年より778件減少して13,547件で、離婚率は前年より0.12ポイント低下して1.90でした。

25～34歳の男性の未婚率が低下に転じる

平成23年の平均初婚年齢は、夫は前年より0.2歳上昇して31.1歳、妻は前年より0.3歳上昇して29.2歳でした。
「国勢調査」によると、平成22年10月1日現在の未婚率は、25～29歳では男性71.9%、女性60.1%で、前回調査(平成17年)より男性は2.0ポイント低下したのに対し、女性は0.5ポイント上昇しました。
また、30～34歳では男性48.8%、女性33.8%で、前回調査より男性は0.7ポイント低下したのに対し、女性は2.1ポイント上昇しました。

婚姻率・離婚率 婚姻(離婚)件数÷日本人人口×1,000
未婚率 当該年齢(年代)の未婚者(結婚したことのない人)数÷当該年齢(年代)の総人口×100

～平均初婚年齢の推移～



本県の平成23年の平均初婚年齢は夫31.1歳、妻29.2歳で、昭和35年と比べて夫は3.8歳、妻は4.4歳上昇しました。

資料：「埼玉県の人口動態概況(確定数)」県保健医療政策課HP



資料出所 *1～4「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省HP

調査時点又は期間 平成23年 調査周期 毎年

◆国勢調査による年齢3区分別人口の推移◆

年次	人 口 (人)			
	総 数	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)
大正 9年	1 319 533	494 776	752 892	71 865
14	1 394 461	532 213	787 869	74 379
昭和 5年	1 459 172	555 794	828 399	74 979
10	1 528 854	586 089	867 178	75 587
15	1 607 927	599 800	929 905	78 220
20	2 047 261	774 175	1 170 912	102 174
25	2 146 445	781 127	1 257 941	107 205
30	2 262 623	779 877	1 362 837	119 900
35	2 430 871	752 024	1 545 841	133 006
40	3 014 983	790 961	2 066 337	157 685
45	3 866 472	1 002 863	2 665 020	198 589
50	4 821 340	1 340 136	3 223 138	256 014
55	5 420 480	1 458 421	3 624 550	333 874
60	5 863 678	1 380 180	4 060 573	420 099
平成 2年	6 405 319	1 196 946	4 660 202	530 539
7	6 759 311	1 090 395	4 976 945	681 172
12	6 938 006	1 024 787	5 011 202	889 243
17	7 054 243	986 361	4 892 253	1 157 006
22	7 194 556	953 668	4 749 108	1 464 860

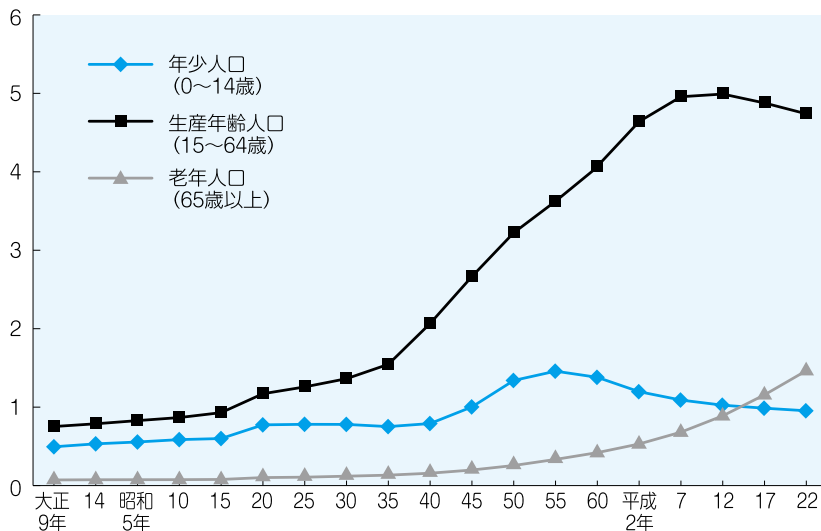
資料：「国勢調査」総務省統計局HP(各年10月1日現在、昭和20年は11月1日現在)

注)1 総数には、年齢「不詳」を含む年があります。

2 昭和15年は、旧外地人(朝鮮、台湾、樺太及び南洋群島)以外の外国人を除く人口です。

3 昭和20年は、人口調査による数値です。

(百万人)



上の表の年齢3区分別人口をそれぞれ折れ線グラフ化したものが、下のグラフです。

年少人口は、昭和55年をピークに減少に転じ、平成17年には3区分の中で最少となりました。生産年齢人口も、平成12年をピークに減少し始めました。逆に老年人口は緩やかに増加していたものが、平成に入り急増し、ついに平成17年に年少人口を逆転しました。少子高齢化が急速に進んでいるのが、グラフからはっきりわかります。